

会 議 録

会 議 の 名 称	第4回 矢島地域協議会
開 催 日 時	平成18年1月23日(月) 午後5時30分
開 催 場 所	日新館ホール
出 席 者 氏 名	「出席者名簿」のとおり
欠 席 者 氏 名	赤川祐一・佐藤永吉・三浦良明・相庭直一・三浦 省・相庭幸子・三浦秀人・近藤正満・打矢正敏・東海林晃・東海林久美子
会議次第	
1.開 会	
2.会長あいさつ	
3.区長あいさつ	
4.協 議	
総合発展計画 (案)について	
国土利用計画 (案)について	
5.その他	
6.閉 会	
会 議 の 経 過	別紙のとおり

出席者名簿
(42名)

会長 鈴木 清	E	区長 佐藤 徳 弥
副会長 武内 詔子	沼倉 睦子	事務局(9名)
秋山 哲朗		支所長 植村清一
佐藤 政一		振興課長 土田隆男
茂木 好文		水道事務所長 菅原賢一
土田 龍太郎		教育課長 三浦幹夫
佐藤 久美		振興課主席参事 佐藤義雄
小番 功		振興課 佐藤勝一
小沼 文夫		振興課 滝野由紀夫
佐藤 伸一		振興課 佐藤昌司
土田 典子		振興課 東海林ひろ子
佐藤 功	(本庁)	
佐藤 健美	各部長 11名	
佐藤 寿美子	企画調整課 3名	
八坂 美智子		
小番 けい子		
C		

第4回地域協議会

・会長あいさつ

・区長あいさつ

協議

猿田企画調整部長あいさつ

渡部企画調整課長

総合発展計画及び国土利用計画策定に係るフローチャートについて説明

質問なし

大庭参事

総合発展計画（案）について説明。

企画調整課長

補足説明

A委員

合併による効果について、これまでできなかった事業が、合併したことでできるようになると期待している。

- ・ 県道仁賀保矢島館合線について早期完成できるようにお願いしたい。
- ・ 合併の効果により、この地域で実施を予定されている事業内容を教えてもらいたい。
- ・ スキー場事業について、合併特例債を充てることができないと聞いたが、事業実施が大丈夫なものかお聞きしたい。
- ・ 行政協力員制度が変更され、これまで行われてきた各地域での住民自治組織に対する支援が統一されてしまうが、がんばっている組織へもっと支援できるようにしてもらいたい。

建設管理課長

仁賀保矢島館合線の早期完成を県とも協議してまいりたい。

商工観光部長

スキー場事業については、合併特例債を充てることができないが、まちづくり計画や総合発展計画にも載っているし、観光振興計画でも鳥海山観光として位置づけ、検討していきたい。

企画調整部長

自治会への助成制度については、いろいろと検討を重ね、市民が主体的に行政へのかわりをもってもらい、年間を通じてコミュニティ活動できるようにと今回提案したもののとなっている。今後も柔軟に検討してまいりたい。

B委員

- ・総合発展計画（案）の中で現状や課題の部分で、「～に努めます」というように抽象的に書かれているが、具体的にわかるようにできないか。
- ・これまで団塊の世代の方が社会を引っ張ってきたと思うが、観光分野でも団塊の世代の方々が今後何をしたいか、実際に部長さんのお話を伺いたい。

企画調整課長

文言表現については、今後も検討しますが、「～に努めます」などについては計画を推進していくという気持ちを持ってがんばっていきたいということでご理解いただきたい。

商工観光部長

社会的にも今後の団塊世代の動向は注目されている。観光振興計画の策定にあたっては、団塊の世代が「癒し」を求めていると考えているので計画策定のあたっては、さまざまな団体の意見を取り入れ、検討していきたい。

C委員

- ・地域の集会所の維持管理にかかる費用（上下水道料等）が増大している。矢島地域では、集会所や消防格納庫等の上下水道料の一部を助成してもらってきた経緯があるがそのような対応はできないものか。
- ・また、今年は大雪になり、地域にある防火水槽の雪よせも難儀となっている。最近の防火水槽には立ち上がりがついているが以前設置された防火水槽にも立ち上がりがついていないので、今後の防火水槽の整備計画の中に盛り込めないものか。
- ・農業の担い手育成と集落営農の立ち上げ方についてどのように整合性をとるのか話を伺いたい。

企画調整部長

現在の制度の中には、維持管理への助成はない。今後、必要なもの unnecessary のものを検討しながら自治組織への支援を行っていきたい。基本的に集会施設の維持管理費用については、自治会で負担してやってもらいたい。

市民環境部長

今後は、その地域にあった防火水槽整備や立ち上がり等の設置を検討していきたい。

農林水産部長

JA と行政が一緒になり集落営農を進めている。JA では集落営農の中に認定農業者にも協力をいただくことになるが、地域の実情に応じて担い手育成を進めていきたい。

C委員

地域の集会所等の水道料については、使わなくても一定料金を徴収されてしまうので、使った分だけ支払えるように従量割を採用できないものか。

ガス水道局長

各地域で水道料の算定が違う。水道料金は 3 年をめでに統一する予定である。水道施設整備にはかなり費用がかかるので基本料金で基本的な部分は賄うようにしなければならないので従量割だけというのはあわないものとする。料金が統一された際には負担にならないようにしたい。

D委員

事業を精選して優先順位をつけて総合発展計画が示されたものと考えているが、現状と課題の中で各地域における駅前周辺整備が必要とあるが、旧矢島では重要施策として土地取得等をおこなってきている。その活用については、十分時間をかけて検討していこうという話であったが、今後どのように進められていくのか、また総合発展計画の中でどのように位置づけられるのか。

現在の中高連携高建設にかかるタイムスケジュールはどうなっているのか。

企画調整課長

主要事業の中には、本荘駅前地区の事業が掲載されているが、各地域でも空洞化が進んでいるので、ハード整備だけではなく商業振興の中で施策を行っていきたい。矢島駅前地域については、計画に掲載されていないと認識しているので今後検討していきたい。

教育委員会

中高連携高のおおよその進捗状況については、平成 17 年度では、用地測量、地質調査等を 1 月 31 日工期で行っている。2 月中には、役員会を開催する予定。

平成 18 年度の予定は、用地買収、基本設計、実施設計等を進めていきたいと考えている。用地買収がスムーズに進められるよう地元の協力をお願いしたい。

総務部長

連携高建設については、遅滞なく進めていきたい。

国土利用計画(案)について

大庭参事

国土利用計画(案)について説明。

E 委員

中高連携高の取り付け道路分の農地の減少分が出ていないのではないかと。

企画調整課長

事業で行うものについては、調整をとりながら整合性を図っていききたいと思う。また、道路の部分に中高連携高が掲載されている。

(終 了)